

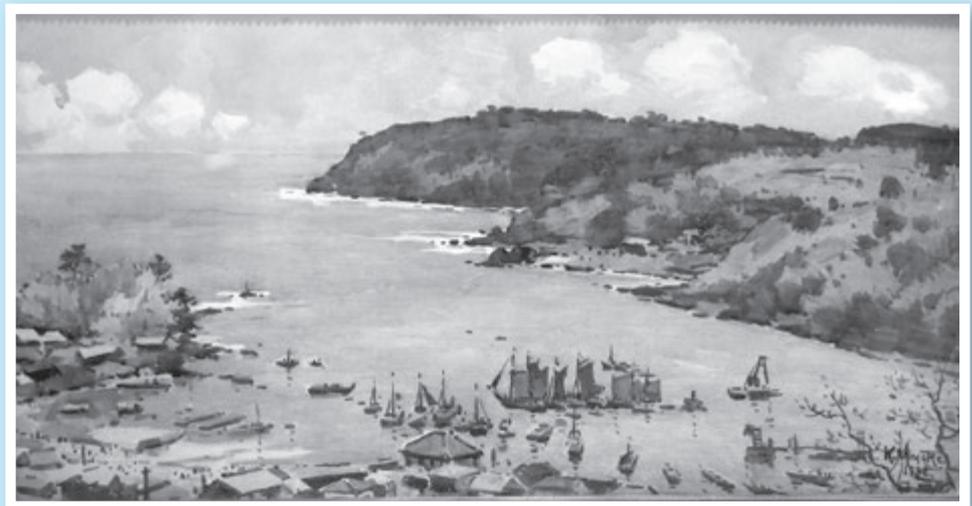


MANAZURU

議会だよりまなづる

No. **51**

2016年(平成28年)
5月1日発行



水彩『相州真鶴港』

作者：三宅克己画伯
真鶴町教育委員会 所蔵

C 目次 ontents

3月議会定例会	2~6P
委員会報告	6~10P
審議結果	11P
一般質問	12~15P
議長の部屋	16P
編集後記	16P

神奈川県真鶴町議会

〒259-0202 神奈川県足柄下郡真鶴町岩244-1
電話0465-68-1131(内線360)
info-center@town-manazuru.jp

発行/真鶴町議会
編集/議会広報特別委員会

ご意見ご感想をお寄せください

3月定例会

3月2日～15日
定例会開催

3月定例会は、平成27年度補正予算、平成28年度予算、発議、条例制定、改正、町長による施政方針報告が行われた。

真鶴町固定資産評価審査委員会委員の選任について

全員賛成
松本宣夫氏の任期満了に伴い、同氏を再任した。

人権擁護委員の推薦について

全員賛成
兵藤知義氏の任期満了に伴い、同氏を再任した。

真鶴町議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について

賛成多数
人事院勧告に基づき、国家公務員の給与に関する法律の一部が改正され、

一般職及び特別職の給与についてこれに準じた措置が講じられることを踏まえ、議員の期末手当についても改正した。

黒岩 職員は人事院勧告の連動を考慮すべきだが、議員は連動の必要がない。

消費増税、年金・実質賃金の減少等、暮らしが大変だということが目に見えてわかり、こういう時期に上げるべきではない。

高橋 今回の改正案は、一般職だけでなく特別職にも用意されており、同じく議員も連動させることが最も合理的である。今回はたまたま引き上げだが、引き下げになることもあり、人事院勧告連動によって、不整合性が起きなくなるとの点をも考慮したものだ。

消費税は国政の判断による法律に基づくものであり、そのあたりも踏まえて人事院勧告は出来上がったっており、妥当なものと判断し提出した。

黒岩 議員は議員でその都度、いろいろな観点から検討すべきである。町民の暮らしは影響を受けながら大変になっていくというのは現実の話であるから、そのところは考慮すべきだ。

反対討論
岩本 議員報酬については議会運営委員会において審議を重ねており、期末手当支給率の改正は、報酬全体の審議を進めた上で、最終的に説明責任を果たせる内容のものを議員全員で検討し、次の議会議員選挙を終えた後に施行すれば良く、1年遡って適用しようとはいかなものか。改正に当たっては、十分な議論を尽くされた後に決議すべきである。

行政不服審査会の事務の委託について

全員賛成
行政不服審査法に規定する機関の権限に属させられた事項に関する事務を神奈川県に委託した。
黒岩 今まで町で出来たことが県への委託になることによって、町民の権

利・救済が守れるか？
総務課長 あくまでも窓口は町であり、町で受けるものを県に委託するものだ。

農業委員会の選挙による委員の定数に関する条例の一部を改正する条例の制定について

賛成多数
農業協同組合法等の改正により農業委員会等に関する法律が一部改正され、在任する選挙による委員定数を継承するため改正した。

黒岩 農家の本来の権利が奪われないか？
農業委員会の農家の代表機関としての権限が奪われないか？
産業観光課長 農業委員会だけでなく、農協や農業生産法人、関係機関が一体となって事にあたることが趣旨だ。

行政不服審査法の施行に伴う関係条例の

地方公務員法及び地方独立行政法人法を改正する法律の施行に伴う関係条例の制定について

賛成多数
地方公務員法及び独立行政法人法を改正する法律の施行に伴い、関係条例を改正した。

人事院勧告は任命権者が任用、給与、分限その他の人事管理の基礎として活用し、分限免職にも適用するとしており、任命権者は標準職務遂行能力をその裁量で決めることが出来、任用に適用するとしている。

これは地方公務員を任命権者のいいなりへと変質させかねないのではないか？
総務課長 人事評価を行うことは地方公務員法で定められており、任命権者の一定の判断は必要だ。
副町長 人事評価は全体の奉仕者としての立場を持ちただけの仕事をこなしていけるか見ていく。任命権者が人事評価を乱用することはない。

真鶴町常勤特別職員員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

賛成多数
人事院勧告に基づき、国家公務員の給与に関する法律の一部が改正され、特別職の給与もこれに準じて改正した。

黒岩 人事院勧告に連動する必要があるのか？

質疑応答

上げるべきではないの
ではないか？

総務課長 人事院勧告は
しつかりしたデータをと
り、官民給与の格差を訂
正するという措置でなさ
れるもので、それに準じ
た措置をとるのは一般的
な流れだ。

村田 人事院勧告は必要
だが、実体経済とかけ離
れているのではないか？
町が低迷しているのに
そのまま受け入れている
のか疑問だ。

総務課長 人事院勧告は
民間給与を調査しそれを
元に算出したものだ。

 真鶴町職員の給与に
関する条例の一部を
改正する条例の制定につ
いて

人事院勧告に基づき、
国家公務員の給与に関す
る法律の一部が改正され
たことに伴い、一般職の
給与についてもこれに準
じて改正した。

 真鶴町議会の議員そ
の他非常勤の職員

公務災害補償等に関する
条例の一部を改正する条
例の制定について

労働者災害補償法によ
る労災年金に乗じる調整
率が変わったことによ
り関係政令の改正によ
り改正した。

 真鶴町固定資産評価
審査委員会条例の一
部を改正する条例の制定
について

行政不服審査法の施行
に伴う改正と整備を行っ
た。

指定居宅サービス等の
事業の人員、設備及び運
営に関する基準等の一部
を改正する省令の公布・
施行により改正した。

真鶴町指定地域密着
型介護予防サービス
の事業の人員、設備及び
運営並びに指定地域密着
型介護予防サービスに係
る介護予防のための効果
的な支援の方法に関する
基準等を定める条例の一
部を改正する条例の制定
について

指定居宅サービス等の
事業の人員、設備及び運
営に関する基準等の一部
を改正する省令の公布・
施行により改正した。

指定居宅サービス等の
事業の人員、設備及び運
営に関する基準等の一部
を改正する省令の公布・
施行により改正した。

 ケープ真鶴条例の一
部を改正する条例の
制定について

ケープ真鶴の施設管理
における指定管理者が行
う区域の一部変更するた
め、改正した。

二見 今まで指定管理者
が徴収し、町に収めてい
たものが、変わるとい
う事か？
産業観光課長 指定管理
者の運営費として収受し
ていたものを町が使用料
として収受する。

真鶴町指定地域密着
型介護予防サービス
の事業の人員、設備及び
運営並びに指定地域密着
型介護予防サービスに係
る介護予防のための効果
的な支援の方法に関する
基準等を定める条例の一
部を改正する条例の制定
について

真鶴町消防団員等公
務災害補償条例の一
部を改正する条例の制定
について

行政不服審査法及び非
常勤消防団員等の損害補
償基準を定める政令の一
部を改正する政令の公布・
施行に伴い改正した。

 町道路線（町道真第
532号線）の廃止
について

町道真第532号線の
全部が一般交通の用に供
する必要がなくなったた
め廃止した。

町道真第
670号線）の認定
について

真鶴町字上釈迦堂宅地
造成事業の開発行為によ
る道路用地が町に帰属さ
れたことにより町道路線
の認定を行った。

真鶴町字上釈迦堂宅地
造成事業の開発行為によ
る道路用地が町に帰属さ
れたことにより、町道路
線の認定を行った。

岩本 起点終点の地番が
違うが所有権はどうなっ
ているのか？
まちづくり課長 道路用
地を寄付いただいた。

村田 釈迦堂付近の遺跡
調査は行ったか？
まちづくり課長 まちづ
くり条例の調整会議にお
いて、遺跡は発掘されな
いとの報告があり調査は
行っていない。

 町道路線（町道真第
620号線）の変更
について

真鶴町字上新久宅地造
成事業の開発行為による
道路用地が町に帰属され
たことにより、町道の終
点部分を変更した。

平成27年度真鶴町一
般会計補正予算（第
6号）

歳入歳出それぞれ1億
5068万9千円を追加
し、予算の総額を34億
1515万5千円とした。

高橋 町民税、固定資産
税、軽自動車税の滞納繰
越分について、いずれも
支払っていただくべき税
であり、法の定める範囲
で適切な方法で収納に努
める必要がある。

村田 収納技術向上にどのよ
うな方策を講じたか？
税務収納課長 研修会へ
の参加、県税との人事交
流等により徴収技術向上
に取り組み、町県民税・
固定資産税・健康保険税
の滞納整理等を行い、預
貯金、生命保険の差し押
さえも行った。

引き続き法律に基づい
た処理をしていく。
高橋 貝類博物館、中川
一政美術館観覧料がい
ずれも減額補正されており
入館者実績の落ち込みが
続いている。

様々な方策を講じた
と思うが、結果につなが
らなかった要因は？
教育課長 博物館では、
海のミュージアム事業、

賛成多数

3月定例会

企画展、アクセサリーを作るワークショップなどを行ったが、土日の天候不良、台風などにより、予定していた集客ができなかった。

美術館では、テーマ展、旅行代理店等への案内状送付、近隣施設等への宣伝をお願いしたが、旅行代理店主催ツアー団体客集客が少なかった。

高橋 天候等に左右されない企画を立てていかなければ予算は達成できない。

両施設のプランニングをどう考えているのか？

教育長 よりインパクトある展示に変えることで、多くの方に興味を持っていただくことを検討して

おり、他館や他施設、観光協会、商工会との連携を強め運営戦略を練っていく。

高橋 町有土地売却収入大幅減の理由は何？

総務課長 現在貸し付けられている土地の賃借人に当該土地の購入意思がある

とこのことであったが、売却に至らなかった。

二見 防災行政無線のチャイムのメロディーを5時と9時で変更できないか？

総務課長 デジタル化によつて音質がクリアになったためうるさいという苦情があり、9時は現在取りやめている。

村田 活性化センター施設使用料と設備等使用料半減の理由は何？

産業観光課長 施設を継続的に使用する方が見つからなかったため、創作スペース等、店舗以外の活用も模索している。

設備等使用料は、なぶら市などが発展したため利用が減った。

村田 チャイムのメロディーに変更はあるか？

総務課長 ききなれた曲が良いということと以前と同じものになっている。

光吉 防災行政無線のデジタル化により音がクリアになった以外に利点は？

総務課長 役場にある親機と相互交信が出来、非常時に使用できる。

光吉 町民センターの空調改修工事の内容は？

教育課長 設計業務委託を行い、夏前までに空調設備の改修工事を行う。

黒岩 年金生活者等支援臨時給付金の内訳は？

健康福祉課長 町民税均等割、非課税者の65歳以上が対象で、一人3万円

で1100人分である。

黒岩 社会補償・税番号制度事業の負担金減の理由は何？

企画調整課長 基幹系におけるシステムの改修と財務会計に関する対応のためのシステム改修をシステム組合が契約執行しており、金額確定による執行残である。

黒岩 議員及び特別職の期末手当は計上されているか？

総務課長 計上している。

海野 消防予防業務に要する費用増の理由は何？

総務課長 防火対象物申請受付・検査等に携わる署員が1名から2名になったことによる増だ。

海野 管理・監督に関する費用減の理由は何？

総務課長 10名から7名への人件費減だ。

海野 デジタル無線の共通波と活動波の違いは何か？

総務課長 活動波は湯河原署管内で既に整備が完了しているが、共通波は

神奈川県全体でこれから整備する。

平成27年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)

全員賛成
歳入歳出に2653万1千円を追加し、総額を15億368万円とした。

村田 加入状況は？

町民生活課長 加入者は2791人、加入率は約35%だ。

村田 納付状況は改善しているのか？

税務収納課長 現年課税分は加入者減に伴い徴収額は減っているが、徴収率は前年同月と比べ上昇している。

滞納繰越分は収納額が上昇している。

黒岩 短期証発行数は？

町民生活課長 27年9月現在で101名である。

黒岩 保険基盤安定制度繰入金の保険税軽減分と保険者支援分の内容は？

町民生活課長 保険税軽減分とは低所得者への保険税軽減を行っている市町村への支援、保険者支援分とは低所得者の多い

保険者への支援を目的に特別会計へ繰り入れるものだ。

黒岩 保険税軽減分の充当は？

町民生活課長 これまでは5割・7割軽減世帯が対象であったが、今回から2割軽減世帯も考慮対象となった。

平成27年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(施設勘定)補正予算(第3号)

全員賛成
歳入歳出に22万7千円を追加し、総額を1億396万2千円とした。

平成27年度真鶴町下水道事業特別会計補正予算(第3号)

全員賛成
歳入歳出に290万9千円を追加し総額を1億1018万6千円とした。

平成27年度真鶴町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

全員賛成
歳入歳出に238万8千円を追加し総額を8億2937万1千円とした。

千円を追加し総額を2億4798万2千円とした。

村田 受益者負担金減の理由と接続件数は？

まちづくり課長 接続件数は4件で予定より伸びず現在も接続勧奨中だ。

平成27年度真鶴町真鶴魚座・ケープ真鶴特別会計補正予算(第3号)

全員賛成
歳入歳出から16万8千円を減額し、総額を4264万6千円とした。

平成27年度真鶴町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)

全員賛成
歳入歳出に238万8千円を追加し総額を8億2937万1千円とした。

平成27年度真鶴町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

全員賛成
歳入歳出に290万9千円を追加し総額を1億1018万6千円とした。

歳入歳出に516万5千円を追加し総額を1億1018万6千円とした。

歳入歳出に516万5千円を追加し総額を1億1018万6千円とした。

質疑応答

一般会計予算

賛成多数

【歳入】

村田 狂犬病予防注射状況は？

町民生活課長 畜犬登録件数は26年度末で568頭であるが、死亡連絡がないものも多く、正確な数ではない。
注射済は450件程度で、年1回必ず注射を受けていただくこととしており、集合注射の設定を行い広報に努めている。

村田 海岸漂着物対策には危険生物も入るのか？
町民生活課長 24年度から国庫補助を活用し、美化財団による漂着物清掃事業を行っており、漂着すれば清掃対象と理解している。

村田 町指定ごみ袋が4月から始まるが、周知不足では？
町民生活課長 毎月の町広報紙による広報に加え、新聞への折り込み、集合

住宅へのチラシ投函も計画しており、今後も継続していく。

村田 長寿社会、づくりソフト事業の内容は？

健康福祉課長 地域社会振興財団振興補助により、地域福祉計画を策定する。

光吉 お林展望公園管理棟内店舗の事業内容は？
産業観光課長 1月より使用者が替わり、フラダンス教室を中心に、展示、物品販売、写真スタジオを展開予定だ。

光吉 活性化センター使用料の見込みと新規プロジェクトの再計上に加え、真鶴地区分を計上した。
黒岩 石丁場の貸地料増の理由は？
総務課長 27年度実施中の残土埋立事業に加え、現在測量作業、計画申請中の埋立候補地分を見込んだ。

黒岩 情報センター施設使用料が増加しているが、夜間閉鎖の影響と今後の使用については？
企画調整課長 使用料は27年度実績と見込みによ

り算出しており、夜間使用があれば使用料は入るので影響はない。

村田 現在、夜間閉鎖の影響度合いを測定しており、まとまり次第、運営協議会に諮り今後の方針を考

えていく。
黒岩 自衛官募集事務委託金増の内容は？
町民生活課長 委託費増により啓発物品を充実させる。

黒岩 町有土地の売却対象は？
総務課長 27年度に見込んでいた岩地区売却予定分の再計上に加え、真鶴

黒岩 石丁場の貸地料増の理由は？
総務課長 27年度実施中の残土埋立事業に加え、現在測量作業、計画申請中の埋立候補地分を見込んだ。

村田 いじめ問題再調査会とは？
総務課長 教育委員会、学校が行ったいじめによ

る重大事態にかかる調査結果に対し、必要が認められるときに再調査を行う機関だ。

村田 地域福祉計画等策定事業の内容、行程、配布計画は？

健康福祉課長 これまで総合計画の中にあつたが、法改正に伴い、福祉全般について社会福祉協議会、診療所等と連携し総合的に策定するもので、アンケート等も実施する。

村田 悠々生活推進事業の内容は？
健康福祉課長 診療所で実施する虚弱化予防・体験型教室・調理実習等の実施に対し補助を行う。

板垣 パークゴルフ場ポイントカード増刷とは？
産業観光課長 これまではリピーター対象に手作業で作成し交付していたが来年度より印刷する。

板垣 27年度は中学生国際交流海外派遣事業への応募がなかったが？
教育課長 意義のある事業なので、応募がなかったことに対する反省も踏まえ実施する。

板垣 町民センター空調設備改修工事の内容は？
教育課長 正常稼働に不安があつた空調設備改修を夏前までに行うもの。

二見 コミュニティバス車両の購入とは？

まちづくり課長 29人乗り小型バスを考慮しており、28年10月より町内走行を予定している。

二見 通常はリースだが今回は購入するのか？
まちづくり課長 町が購入し、業者に委託する。

二見 学校教育指導員とは？
教育課長 きめ細やかな児童・生徒指導の実践にむけ教育委員会の指導制度を強化するため配置するもので、新たに雇用する。

海野 コミュニティバスの運行ルートは、現行の岩路線バスルートを走るのか？
まちづくり課長 岩路線バスが10月以後撤退し、その後をコミュニティバスが走る。

まちづくり課長 岩地区は現行路線バスルートと駅北側旧道部分、真鶴地区は山まわりルートをカバーする。

光吉 里海ベースでの干物作り体験稼働状況は？
産業観光課長 継続的な運営には至っておらず、新年度本格稼働を目指す。

黒岩 マイナンバー通知カード・個人番号カード等について、町の負担はあるか？
企画調整課長 現状は100%国庫補助事業だが、将来の維持管理費については未定である。

町民生活課長 マイナンバーの管理交付は厳格なマニュアルが国から示されており、適正な交付に努めていく。

黒岩 地域公共交通運行支援補助金の内訳は？
企画調整課長 地方創生交付金を活用したコミュニティバス運行費用だ。

黒岩 学童保育の対象拡大の予定は？
健康福祉課長 夏休み期間中について4年生を対

3月定例会

象に加え、その後6年生までの拡大を検討する。

黒岩 児童インフルエンザ 予防接種助成が昨年より減っているが？

健康福祉課長 対象児童の減によるもの。

岩本 防災会議、国民保護協議会の協議内容は？

総務課長 防災会議は地域防災計画の改定に際し協議いただく。

国民保護協議会は今のところ活動はなく、事態

が起きた時に召集になる

光吉 町立体育館に修繕 が必要な箇所があるので

は？

教育課長 各施設に修繕

が必要な箇所があるのは把握しているが、緊急な

もの以外はその都度補正で対応している。

平成28年度真鶴町国民健康保険事業特別

会計(事業勘定) 予算

賛成多数

村田 普通調整交付金の 内容と算出方法は？

町民生活課長 各市町村の財政力の不均衡解消に交付されるもので、法定

により算出される。

村田 自治体間の格差が 生じる原因は？

町民生活課長 国・県からの支援はあるが、それ

以外に税に反映される。

黒岩 保険基盤安定制度 繰入金を引き下げに使う

べきでは？

町民生活課長 保険者支

援分は低所得者を多く抱える保険者への支援が目

的であり、制度を持続可

能なものとして維持して

いく現段階での引き下げ

は難しい。

黒岩 一般会計から予備 費や財政調整基金を取崩

してでも法定外繰入をす

べきでは？

町民生活課長 当町に配

分される今回の保険者支

平成28年度真鶴町国民健康保険事業特別

会計(施設勘定) 予算

賛成多数

平成28年度真鶴町下水道事業特別会計予

算

賛成多数

平成28年度真鶴町真鶴魚座・ケープ真鶴特別会計予算

賛成多数

平成28年度真鶴町介護保険事業特別会計

予算

賛成多数

黒岩 有償ボランティア に関する事故発生時の補

償や専門性の担保、利用者負担増はあるのか

健康福祉課長 要支援者

に対するサービスは従来どおりで、29年度から支

出の枠組みが変わるが負担増はない。

買い物サービスなど今までなかった生活支援事

業を行うための組織を作るもので、県の研修にも参加していく。

平成28年度真鶴町後期高齢者医療特別会計予算

賛成多数

黒岩 保険料が大幅増だ が値上げを見込んでいる

のか？

町民生活課長 保険料は

広域連合から示されたもので、加入者数の増加及び保険料改正分を見込んで

いる。

平成28年度真鶴町水道事業会計予算

賛成多数

平成28年度真鶴町一般会計補正予算(第7号)

賛成多数

村田 個人番号カード交 付は遅れているのか？

町民生活課長 3月14日

現在で135枚交付して

いる。

真鶴町老人デイサービスセンター管理者

の指定について

賛成多数

真鶴町老人デイサービスセンターの指定管理者 に、社会福祉法人 真鶴

町社会福祉協議会を指定

した。

委員会報告

経済文教常任委員会

一般会計 教育課

村田 いじめ防止対策調査会、新規だが、現在の

小・中学校のいじめの状況は？

課長 重大な案件はない

が、数件の報告がある。

村田 新規のふるさと教育検討委員会とは？

課長 まちの人や文化、自然、産業等を体験的に

学び、深い郷土愛を養い

進んで貢献しようとする

心を培うことを目的に教育カリキュラムの作成を

行うこと。

村田 副読本のためのも

に副読本の改正につながる。 **村田** 学校給食の放射能測定は予算に無いが継続されているのか？ **課長** 定期的に継続している。 **村田** 中川一政美術館で覚書により中川先生以外の作品は飾れない。その後、話し合いは？ **教育課長** タイミングを見て話し合いをしていく。 **村田** 覚書には法的な拘束力があるのか、課題である。 **村田** 貝類博物館の入場者数が減少している問題はどうか？ **課長** 企画展を予定している。 **村田** 船の科学館の補助金を活用し海の学びに対するイベント等を行う。

質疑応答

岩本 美術館の壁面改修の計画は？

課長 公共施設整備等総合管理計画を作る際に検討したい。

岩本 文化財修復費が、計上されたが、予定は？

課長 如来寺跡の洞窟石仏群の風化防止、保護コーティング費を計上した。

岩本 学校給食の検討会の結論は？

教育長 保護者アンケートをとった。

意見をまとめた上で町長に報告をすることになっている。

黒岩 町立ひなづる幼稚園保育料が昨年より減っているがなぜか？

課長 減額要因は子ども子育て支援制度運用に伴い世帯の所得に応じた保育料となったこと、多子世帯に対する保育料軽減措置が図られたため。

黒岩 不登校訪問相談事業が昨年より増額しているがどのようにすめようとしているのか？

教育長 不登校訪問相談員支援センターの職員、アドバイザー等の会議を

もち連携をとりながらすすめている。

黒岩 児童生徒就学援助業が昨年より増額しているが要因は？

課長 対象者の増加による。

黒岩 生活保護基準は変わらないか？

課長 生活保護基準の1.5倍は堅持していきたい。

高橋 副読本研究事業とはどのような事業か？

課長 23年度に作成した副読本の不足分を増刷するもので、本来、5年毎に内容を見直すところ、ふるさと教育見直し完了後の30年度に改定を予定している。

高橋 学校に対し直接指導を行う学校教育指導員には、どのような人材を採用するのか？

教育長 児童、生徒への生活、学習指導に関する様々な課題に対応すべく教育委員会指導主事を補完するため、指導経験が豊かな人材を配置する。

高橋 町民センターは様々な層の方々が利用されており、利用頻度も高く、

大きな行事を開催できる場所は他にない。

このところ老朽化が進み、予算計上済の空調設備改修以外にも、照明や音響装備等に不具合が散見されるが改修計画は？

課長 照明LED化等、公共施設等総合管理計画策定に合わせ検討する。

岩本 町民運動会の商品代については町村合併記念事業という位置づけはされているのか？

課長 特に考えてはいない。

黒岩 コミュニティバスになってもスクールバスの利用料金は今までと変わらないか？

課長 今までと変わらない。

課長 今までと変わらない対応をしていく。

一般会計
まちづくり課

つた段階で要望する。

村田 コミュニティバスで隣町まで路線の延長はできないか？

課長 町外へは他の路線バスやJRの利用をお願います。

村田 観光客向けに観光ガイドアナウンスは？

課長 考えたい。

村田 児童小公園の草刈りなどの管理計画は？

課長 行き届かない現状があるので順次努力する。

高橋 急傾斜地崩壊対策工事箇所は継続して行うものか？

課長 清水沢地区を継続して39m施工する。

高橋 下半期から実施する新たなコミュニティバス運行事業に関する補助金の内容は？

課長 運行補助金として半年分675万円と、車両改装補助金として300万円である。

岩本 都市計画図作成業務委託料についてだが、この事業は完成に複数年かかる事業なのか？

課長 3か年計画である。デジタル化した都市計画

図に様々な計画を織り込むための委託料契約である。

村田 産業活性化センターの事業収入予算は163万8千円、設備使用料収入は30万6千円だが、支出は303万円なので赤字だ、黒字化は？

課長 予算上で赤字、イベントなどでの活用で空いている部屋の活用をしていく。

村田 産業活性化センターができる前の事業計画が示されていたが、まだ実行されていない事業があるが、どうなった？

課長 実際、創業までには至っていないが、活用していたことを着手していく。

高橋 町観光協会助成事業により、観光パンフレットの作製を観光協会に一元化するのは？

課長 これまで町で作製していた真鶴さんぽの増刷を中止し、外国人観光客へのPRにも寄与するパンフレット等に一本化する。

村田 レンタサイクル事業への助成は？

課長 28年度は観光協会の自主事業として行うの

一般会計
産業観光課

一般会計
まちづくり課

3月定例会

委員会報告

で、助成は行わない。
黒岩 鳥獣被害対策で、新しい方策はあるか？

課長 猪対策用の電気柵捕獲用のわななどを充実させ、県とも連携していく。

また、鳥獣被害対策実施隊では若い方も見込み、増員する予定だ。

黒岩 農地台帳システム整備事業の目的と内容は？

課長 遊休農地をやる気のある方に貸していくため、遊休農地を地図で検索できるようにするため調査だ。

黒岩 パークゴルフ場の使用料が増えているが、今後の対策は？

課長 休日はいっぱいになっているので、平日の利用を増やしていく。

黒岩 産業活性化センターの冷塩水機はつかわれていないのではないか？

課長 賃料はまだ発生していないが、借りている方が長く借りてくれるように努力する。

真鶴魚座・ケープ真鶴特別会計 産業観光課

村田 足湯はどのようなものを作るのか？

課長 あずまや的な屋根のある足湯、5人槽のユニットバスだ。

村田 維持と管理は？

課長 維持費は計算しておらず、指定管理者が行う。

村田 維持費などの計画を立てる必要があるのか？

課長 指定管理者に運営は見えていただく。

村田 足湯の利用料は？

課長 無料の予定だ。関連品物を販売する。

下水道事業特別会計 まちづくり課

村田 27年度予算では18件の下水道接続を見込んでいたが、実際には補正で4件。

16件の増を見込んでいたが、ハードルが高くなるが、

課長 努力はしているの

で、過大な設定とは考え

ていない。

岩本 下水道事業に係る国庫補助金について、事業費の2分の1補助を見込んでいたが、国からの予算付けが今後いつまで得られるのか危惧している。

今後の予算獲得に向けての取り組みは？

課長 国からは3年以内にアクションプランを求められており、このアクションプランに位置付けできないものについては予算付けが難しくなる。

新年度において計画見直しを行い37年までは予算獲得できるようにしたい。

岩本 配水設備工事予算4246万6千円の予算が計上されているが、以前、漏水を指摘しておいた「ひなづる幼稚園」近くの第4配水池の改良予算は含まれていないよう

水道事業会計 まちづくり課

だ。

この後に計画していくつもりはあるのか？

課長 修理代が、かなり高価なものになるので、見積りをとって一番良い方法を探している。

メーターを調べるなかで、常時出ている訳ではないが、水量としては、結構な量になるので早急に対応したいと考えている。



総務民生常任委員会

一般会計 会計課

質疑なし

一般会計 健康福祉課

光吉 地域福祉計画策定委託内容は？

課長 社協の地域福祉行動計画、診療所の地域医療計画をまとめた冊子の作成とコンサルティング

である。
光吉 コンサルタントと

自治会との連携はうまくいくのか？

課長 策定には委員会を立ち上げ、自治会の方々にも委員として一緒に参加していただく。

板垣 臨時福祉給付金事業の事務手続きはいつからか？

課長 新年度に入り早急に事務を進め、6月中旬に第1回目の給付を行う。国もそれを希望しており、申請書を4月下旬に送付する予定だ。

海野 民間保育所運営事業がだいぶ減っている。今後3年間で保育料が上がるが、関連は？

課長 今年度法改正に伴い補助事業名が変更となったもので、その分を含め保育所助成事業が増えている。

保育料を町が収納し、助成金と合わせ保育所に支払うもので、保育料が公定価格より低い場合には、町が補てんする仕組みである。

海野 児童手当金額は？

課長 3歳未満は1万5千円、3歳以上中学卒業

までは1万円である。
光吉 子ども・子育て支援事業の両親教室の実施状況は？

課長 26年度は3回実施し、のべ21名が参加された。

光吉 少子化対策に向けた新たな取り組みは？

課長 提案等も取り入れた取り組みを行う。

高橋 人口ビジョン・総合戦略の中で、少子化対策の一環として、子ども子育て事業の強化がうたわれているが、具体的にどのように予算に反映しているか？

課長 予算への反映は、まだされていない。

計画全体はできたが、具体的な事業は28年度に入ってから計画をし、補正に組み入れる。

高橋 具体的な事業計画がないと国への交付金予算要求に盛り込めない。

課長 現状では、地方創生交付金を獲得出来る事業がまとまっておらず、28年度に検討を続けていく。

高橋 地方創生にあつ

質疑応答

では、先ず事業を考え、それを実現するための財源を獲得することをしなければ成し得ない。

町長 少子化対策事業は未だまとまっていない。

28年度に実施しなければならぬものであり、至急策定するよう指示している。

一般会計 総務課

高橋 町有土地売却対象は、27年度不調に終わった土地と同一か？

課長 同一土地で、鑑定結果に基づき計上した。

高橋 公共施設等総合計画策定期間は？

課長 27年度に実施している固定資産台帳の整備結果に基づき、施設の整備・修繕を行う事業で、できる限り早く計画策定に着手する。

高橋 昨年9月定例会一般質問で、防災備蓄食糧を多少減らしてもリヤカーの配備に予算を配分したいとの回答だったが？

課長 期限切れを迎える食糧の入れ替えに関する

予算のみでリヤカー配備予算は計上していない。引き続き検討を行う。

高橋 議場音響設備の不具合が多く、改修が必要では？

課長 公共施設等総合計画策定事業に含め検討する。

海野 町有土地賃地料（石丁場等）の見込額増の理由は？

課長 通常の賃地料に加え、残土の受け入れを見込んでいる。

海野 予算に見合う残土が見込めるのか？

課長 積算内容について、再確認する。

光吉 防災行政無線事業が今後も継続していくが、アンテナなど、設計の仕様を十分精査しているのか？

課長 本来であれば、設計を行った上で予算を決めるが、今回は先に国から補助金を得て、その額に見合う事業を行う。

一般会計 企画調整課

光吉 デジタルアーカイブ、ホームページリニューアル事業の概要は？

課長 デジタルアーカイブは真鶴の古い写真をインターネット上で閲覧できるようにするもので、既に未発表が行ったものを町が行う。

海野 ホームページリニューアルは、業者に委託し全面改定する。

光吉 デザインの再考はどのようになるか？

課長 他の自治体で作っている優秀なものを参考にして作成していく。

板垣 情報センター費で臨時職員賃金約100万の増は開館時間などの変更をするものか？

課長 27年度途中から平日についても臨時職員をいれている。

今後も窓口はなるべく臨時職員でやっていくということ増額になっていく。

板垣 夜間の開館については？

課長 夜間については今のところ試行でやっている。

光吉 デジタルアーカイブ

ついているところで、データがまとまったところで運営協議会より意見をいただき、夜間開放についてはそこで考えていく。

板垣 データによっては夜間閉鎖ということもあるのか？

課長 予約が入っている時は閉めることはない。

板垣 近隣の市町ではふるさと応援寄付金が大幅に増えている中、ふるさと応援寄付金謝礼品の減額はなぜか？

課長 寄付金や謝礼品などについて、サイトに委託することになった。

海野 サイトとの打ち合わせをし、特典の見直しをかけていき、アドバイスをしながらやっていく。

サイトの立上げが6月から9月にかけてであり、寄付金が増えるのは秋からでそれを見越して当初額を下げた。

サイトに委託することで額が伸びることが予想され運営が始まった段階で補正対応をしていく。

海野 地方創生の深化のための新型交付金の業務

委託料の内容は？

課長 岩がき養殖、新たな浜の活性化再生プラン、移住コンシェルジュだ。

高橋 町ホームページに未だに不具合が見え、改善されていないが？

課長 10月リニューアルに際し、他自治体の高評価を参考にし、システム上の不備を含め改善していく。

二見 公式ホームページ運用委託先は？

課長 9月までは現行委託先、10月以降は新たに選定する。

二見 リニューアル委託先は？

課長 新たに業者選定を行う。

光吉 箱根ジオパークの広報活動の予定は？

課長 観光部会を立ち上げていく。

観光協会や民間業者の観光部会でも取り組みを始めて行く。再認定の審査にむけて観光ガイド等を育成していく。

町長 1市3町でジオパークを編成しているが、南足柄市が入りたいという

うことで、国に再認定の手続きをしている。29年に100kmマラソンを検討している。

高橋 情報センター利用状況は？

係長 利用者数は減っているが、使用料改定の影響に加え、減免団体が減ったため、使用料は増えている。

高橋 利用状況の改善が求められる中どのような方策を講じているか？

係長 音楽イベントの実施に際しては、全館貸し切りとするなど、団体利用への利便を図っているが、特段のPR活動は行っていない。

高橋 PRすることが更なる利用者増につながり用途も広がるのでは？

利用促進策を策定し、効果を想定した上での予算作成ではないのか？

係長 今後、広報等でのPRを行うとともに、早急に対策を示す。

光吉 情報センターの夜間利用がないと暗くて物騒だという声があるが、利用がなくても街灯を照

3月定例会

委員会報告

らすことはできないか？
課長 太陽光発電照明と非常灯が点いており、暗すぎとは感じられない。
光吉 くらしかる真鶴の今後の予定は？
課長 施設のセルフリノベーションは終わったので、制度面の整備を終了させ、4月の実施をめざし2分の1の稼働を目標にしていこう。

一般会計 産業観光課

板垣 町指定ゴミ袋売上代金に4月からの可燃ゴミ袋は含まれるのか？
課長 業者から直接店舗に納品し販売するもので含まれていない。

板垣 新設の有価物売払収入とは？
課長 小型家電のボックス回収と、4月から回収を開始する布類売払代金収入である。

一般会計 税務収納課

高橋 町民税等の滞納繰越分が、27年度補正予算で大幅減額されているにもかかわらず、28年度予算では増となっている？
課長 27年度現年度分収入未済額と、26年度分以前の滞納繰越分収入未済額の合計額に、過去の収納率を乗じて予算に計上した。
 27年度補正予算では、12月分までの実績と1～3月分の過去3年分の収入見込額により補正減したもののだが、町民税、固定資産税については、補正した収入見込額を上回っている。
高橋 滞納繰越分を収納する技術が高まり、収納率が向上し、新年度予算では収入見込額が増えたのか？
課長 収納技術だけでなく、財産調査等も行いながら、今年度並みの税額を確保できると考える。
高橋 そういった要因を元に、収納率をこれまでより高く設定しているのか？
課長 収納率は年度によりバラツキが大きく、例

えば、個人町民税は25年度26・92%で過去5年間の最高、26年度15・96%で最低であった。
 これらを参考に、新年度予算では20%と見込んでいた。
二見 28年度より、登録から13年以上経過した軽自動車に対する税が上がることになるが対象台数を町は把握しているか？
課長 町では登録年月日情報を把握していないため、他の車両と同額で予算を計上しており、判断次第、補正対応する。

介護保険事業特別会計 健康福祉課

光吉 29年度は、予防給付をやめ生活支援サービス体制に移管する準備段階だが、どのように行っているか？
課長 元気な高齢者が有償ボランティアとして、地域の支援を求めている方をまかなえればと進めている。

もう一点は、社会福祉協議会が主になり、生活

支援コーディネーターが支援元となって、登録した方に対して要望に応えていくもので、一方では、それを支援するためにNPO化して答えていく方法も検討中で、一番合うやり方を模索している。
高橋 有償ボランティアに対する報酬は、どの程度のものか？
課長 国は1時間の買い物であれば、500円程度としているが、時間単位だけでなく、30分で済めば半額とすることも含め、検討する。

国民健康保険事業特別会計（事業勘定） 町民生活課

板垣 後発医薬品通知を行った効果は？
課長 薬価の安い後発医薬品は、国保財政健全化に寄与することから、先

後発医薬品利用者に年2回差額通知を出している。差額通知数は減ってきているので普及は進んでいると判断している。

国民健康保険事業特別会計（施設勘定） 町民生活課

海野 運転資金貸付金とその返済方法は？
課長 地域医療振興協会に対し運転資金として貸し付けるもので、年度始に貸し付け、年度末に返済されるものである。

後期高齢者医療特別会計 町民生活課

質疑なし



議会を傍聴してみませんか
 次の議会は
 定例会6月9日(木)～10日(金)の
 予定です。

真鶴地域情報センター・インターネットでも議会中継をします。

平成28年 3月定例会 審議結果

会期(3月2日~15日)

議案番号	議案	採決者数	賛成	反対	議決結果	板垣由美子	田中俊一	黒岩範子	高橋 敦	光吉孝浩	岩本克美	海野弘幸	青木 繁	村田知章	青木 巖	二見和幸
同意第1号	真鶴町固定資産評価審査委員会委員の選任について	10	10	0	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第1号	人権擁護委員の推薦について	10	10	0	承	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第1号	真鶴町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	10	6	4	可	○	○	×	○	×	×	○	○	×	○	○
議案第1号	行政不服審査会の事務の委託について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	農業委員会の選挙による委員の定数に関する条例の一部を改正する条例の制定について	10	9	1	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	10	9	1	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	地方公務員法及び地方独立行政法人法を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	10	9	1	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	真鶴町常勤特別職職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	10	8	2	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第6号	真鶴町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	10	9	1	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第7号	真鶴町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	真鶴町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について	10	9	1	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	真鶴町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	真鶴町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	ケーブル真鶴条例の一部を改正する条例の制定について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	真鶴町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	10	9	1	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	町道路線(町道真第532号線)の廃止について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	町道路線(町道真第670号線)の認定について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	町道路線(町道真第671号線)の認定について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	町道路線(町道真第620号線)の変更について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	平成27年度真鶴町一般会計補正予算(第6号)	10	7	3	可	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○
議案第18号	平成27年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	平成27年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(施設勘定)補正予算(第3号)	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	平成27年度真鶴町下水道事業特別会計補正予算(第3号)	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	平成27年度真鶴町真鶴魚座・ケーブル真鶴特別会計補正予算(第3号)	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	平成27年度真鶴町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	平成27年度真鶴町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	平成28年度真鶴町一般会計予算	10	9	1	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	平成28年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)予算	10	9	1	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	平成28年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(施設勘定)予算	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	平成28年度真鶴町下水道事業特別会計予算	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	平成28年度真鶴町真鶴魚座・ケーブル真鶴特別会計予算	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	平成28年度真鶴町介護保険事業特別会計予算	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	平成28年度真鶴町後期高齢者医療特別会計予算	10	9	1	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	平成28年度真鶴町水道事業会計予算	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	真鶴町老人デイサービスセンター指定管理者の指定について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	平成27年度真鶴町一般会計補正予算(第7号)	10	8	2	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○

議長は裁決に加わりません

採択結果 ○=賛成 ×=反対 退=退席 欠=欠席(遅刻・早退を含む) 除=除斥
 議決結果 可=可決 否=否決 承=承認 認=認定 同=同意 報=報告 採=採択 趣=趣旨採択 不=不採択

審議結果



田中 俊一
議員

の年齢3区分別人口のバランスがとれている町にするよう地方創生に取り組んでいく。

Q 年齢3区分別人口バランスがとれた町にということだがその施策は？

A 転出を抑え転入を促す施策が必要。出産、子育て、教育について真鶴の特色ある一貫したプログラムを作成し町内外に向けPRする必要があらう。

Q 真鶴町総合戦略について総務省が2015年国勢調査の速報値を発表したが、結果は、国勢調査初の総人口減、別の統計でも出生率から死亡数を差し引いた自然減が大きいことがわかっており、はつきりと人口減に入ってきたと分析。真鶴町にとっても切実な課題であり、施策が求められる。

Q 人口ビジョンにおいては短期的視点でなく大局的視点で町のありかたを選択する必要があると思うがどうか？

A 真鶴町は国立社会保険障人口問題研究所が推計した2060年の人口2521人を上まわる3450人とし維持するものとする。現在に比べ人口は減るが年少人口、生産年齢人口、高齢人口

Q 空き家や公共施設の既存ストックをネットワーク化する様なことも構想の中にも含まれるとの論もあるが？

A CCR Cを進める中で行政主導でいくか、民間連携で進めるか検討しているところではない。ただ民間活力によらず、行政だけではCCR Cの実践は不可能と思われる。そのあたりを踏まえて今後、検討していきたい。

Q 地理的環境、景観、都心との交通の便など真鶴町にとっても真鶴版CCR C構想は魅力あるものと感じる。構想に手をあげている自治体が200を超えているとのこと、情報交換も視野に入れていくべきと考ええる。

Q 地理的環境、景観、都心との交通の便など真鶴町にとっても真鶴版CCR C構想は魅力あるものと感じる。構想に手をあげている自治体が200を超えているとのこと、情報交換も視野に入れていくべきと考ええる。

一般質問



黒岩 範子
議員

今後は建設行為の届出を出してもらいまちづくり条例に基づく手続きを行うよう指導する。建設行為者からの計画が提出された上で検討する。

Q 真鶴半島にある「まちづくり条例」違反の建築物について

Q 今までどんな経過があり現在何が問題になっているか。町として今後どのように解決はかろうとしているか？

A 平成27年10月7日に県西土木事務所職員と町まちづくり課職員とで当該地である真鶴町真鶴1176番地の立ち入り検査を実施した。検査の結果、当該地に建築されているプレハブ小屋、トイレ及び手洗い所3施設が建築物であり建築基準法違反であるとの県の判断を確認し、平成27年度12月14日付けでまちづくり条例違反であり条例を遵守する旨の通知を土地所有者に送付した。現在条例を遵守するよう継続して指導している。

Q 入り口の看板は撤去してもらおうのか。土地利用規制基準の中にある「自然環境の保全又は町の振興を図るため特に町長が許可したものについてはその限りではない」という「ただし書き」についてどう考えるか？

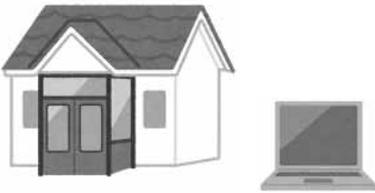
A 看板については申請をあげてもらってから判断する。この土地は私有地であり、所有者は町の活性化のために役立てたいとも言っている。しかし、建築物は禁止の区域なので、どんな計画を持っているか明らかにしてもらい、審議会にかけ、その結果で『ただし書き』について判断する。

費の事を考えると出産を躊躇する若い夫婦が増えている。実質賃金の減少、非正規で働く人の増大など格差と貧困が広がる中で子育て世代の暮らしはますます厳しいものになっている。親の収入に関係なくお金の心配をしないで医師にかかれる真鶴町独自の施策である中学校卒業までの医療の無料化が大変喜ばれている。高校卒業まで拡充することは出来ないか？

A 高校卒業までの医療費の無料化については、県内市町村の状況は勘案して検討する。

Q 町として、子どもの医療費『窓口無料化制度』への国のペナルティを廃止させ県に対し財政支援の強化を求めていくべきではないか？

A 国民健康保険制度における町単独事業実施に伴う負担金の減額措置の廃止については町村会を通じ国へ、また、県に対して重点要望として医療費制度の拡充を要望している。



Q 高校卒業まで医療費無料化の拡充を子どもが欲しいと思っても生活費や教育





村田 知章
議員

小中学生の教育費負担軽減について

Q ランドセルは平均4万円前後、最低でも2万円は必要と言われている。小学校でランドセルの使用を義務付けずに、その他のランリユックなどのリュックサックへの選択制にできないか？

A 通学用カバンとしてランドセルの使用は義務付けていない。

Q そのことを入学前の保護者への周知は？

A 入学前の説明会で、ランドセル以外でもよいという説明はしていないので、付け加えていきたい。

Q 中学生の私服の導入は？ 保護者負担の総額は？

A 制服私服それぞれにメリット、デメリットがある。教育委員会と

して制服を継続するか解禁にするかの指示を出すことは考えていない。

平均で男子制服は4万3000円程、女子制服は3万7000円程。

Q 子どもの貧困率は全国で16.3%と悪化している。真鶴町は？

A 把握するためには、個人情報等の多くの情報を調査する必要もあり、把握していない。

Q 学校教育法第19条で、経済的就学困難者に市町村は必要な援助を与えなければならないとされている。要支援者の割合は？

A 当町における就学援助を受けている児童生徒の割合は10%前後。学用品、通学用品、通学費、修学旅行費などに補助している。

Q 火葬場の活用について

A 火葬場の利用は、年間約550件、一日平均1.8件で、稼働率に余裕がある。他自治体の利用者を増やすことで地域経済にもプラスになるのでは？また自治体同

士での相互協力になるのではないかと？

A 真鶴町湯河原町以外からの利用は一件7万円の使用料で、割合は15%を占める。今後、他市町村分の占める割合が大きくなると予想されるが、あえて受入体制を整えることは考えていない。

Q 住基ネットについて

A マイナンバー制度が始まったが、それ以前に住基ネットという制度に国も自治体も多額の投資をしてきた。全国での住基ネットの利用率は5.5%とたいへん低く、導入費用に約400億円、年間運用コストは約130億円だといわれている。町としていくら支出してきたか？

A マイナンバーの交付状況は？

A 総額で構築費用に936万6000円、保守に487万8000円を負担した。マイナンバーの交付状況は2月末現在で81枚、現在のところは約1%の交付率である。

一般質問



板垣由美子
議員

自然災害への備えを！「国土強靱化計画」の策定について

Q 多くの尊い生命が奪われ、甚大な被害をもたらした東日本大震災からの教訓を踏まえ、平成25年12月に「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」が公布・施行された。その第4条では地方公共団体の責務が明記された第13条では「国土強靱化地域計画」を定めることができることとされている。努力義務となっているが今後大規模自然災害等の発生も予想され、町民の生命・財産を守るため早急に策定する必要があると思うが？

A この「国土強靱化地域計画」は町が持つ他の計画の上位に位置す

るため、全庁横断的な調整が必要となるのでもう少し他の団体の取組みを研究したい。

それまでは地域防災計画に基づき、自然災害のリスクに対応していく。



Q 焼却ゴミを減らそう！「リサイクルを進め、ゴミの減量化を更に図る」とについて

A 小型家電の回収ボックスの設置や可燃ゴミ袋の有料化などの実施により、リサイクルやゴミの減量化への更なる高まりが期待できる。そこで次の4点について町の考えを伺う。

- ① 小型家電回収の現状と回収量を増やす取組み
- ② 生ゴミ処理機購入への補助は？
- ③ 自分にとっては不要なものだが、まだ使える物の活用場の設けることは？

④ 可燃ゴミとして処分されやすい小さな雑紙類の回収に収集袋を活用することは？

A 使用済みの小型家電の回収についてはボックス回収を始めた。当面、周知・広報に努める。

A 生ゴミ処理機の購入補助については今後も継続していく。

昨年はコストが安く手軽に始められるダンボールコンポストを紹介した。

A 町が場を設けるといことでなく、急速に多様化しているリユースの手法の中で皆さんの工夫ですすめていただければと思う。

A 雑紙類の回収については、紙袋を活用すれば回収量の増加が見込めるので、関係機関と検討していく。





二見 和幸 議員

ケープ真鶴の情報発信について

Q ケープ真鶴では、施設の改修・整備、足湯施設の設置、各種イベントの開催、宣伝事業など、一人でも多くの観光客を迎え、快適に楽しんでいただき、真鶴の良さを知り、リピーターとなり、最終的には移住していただけるよう、様々な取り組みが行われている。

A その中には、ガーデン・ウェディングの計画もあり、結婚式だけでなく、ご夫婦やご家族のアニバーサリー・イベントにも利用いただける。

第1回目は、これまで真鶴を愛し自然を守ってきてくださった金婚式を迎える町民ご夫婦に町からプレゼントしては？

A 結婚式や町民の方のイベントにケープ真



鶴を利用いただくことは、地域活性化のためにも大変良いことであるが、指定管理者の自主事業として展開していく事業などで、このようなイベントが単発で終わらず継続的に実施されるよう、指定管理者と協議・連携し進めていく。

また、敬老の日に金婚式を挙げていただくことも考えており、関係者とも相談していく。

Q ケープ真鶴での新たな事業展開をアピールする場を持つ考えは？

A 森の駅整備事業の一端として実施する御林の魅力を伝えるステーションの開設や、ラッピングを施した移動販売車等をマスクミ向けに披露する機会を予定しているため、その際に、模擬結婚式を行い、アピールしていく。

フェイスブック真鶴町公式ページの作成について
Q 様々な自治体がフェイスブック公式ページを作成し、災害緊急情報、観光紹介、特産品販売等を発信するなど、国内にとどまらず海外向けにも有効活用しており、神奈川県や小田原市も作成している。

国内外から真鶴への観光客増加にも効果が期待できる真鶴町公式ページを開設しては？

A 簡単な操作により即座に情報を発信できる反面、誤操作による事故の可能性もあり、誤りをチェックする人材も必要になり、「即座に」という特徴を十分活かすきれないことが予想されるので、他の情報発信手段と併せ検討する。

Q どのような発信媒体にも誤操作による事故は起こり得る。自治体によっては商工会・観光協会等から発信しているところもある。ぜひ検討を。

一般質問



岩本 克美 議員

水道の安定供給と水道料金の見直しについて

Q 未来を築くビジョンに掲げられている「上水道管理事業と健全化計画」について伺う。

A 真鶴町の水道事業は、昭和3年に創業以来90年余の歳月が経過します。人口は、昭和41年をピークに減少に転じ、世帯数は増えるものの人口は減り続けている。創業以来約90年余という歴史に耐えた施設の維持、改修等の計画はあるか？

A 平成20年度に「水道ビジョン」を策定し、この実現に向けた指針として「真鶴町上水道整備基本計画」を策定した。平成30年度までの10年間の施設の維持・改修等を年次計画に位置付け、特に老朽化していた第3配

水池の更新工事や、安定した給水の確保、有収率の向上を図るため、道路及び下水道整備に合わせ効率的に更新工事を実施してきた。財政を見直し新たなビジョン策定の検討に着手する。

Q 目に見える設備だけでなく、埋設されている配水管については？

A 昭和40年代に敷設した配水管が多くあります。計画的な工事をやるべきことは承知しているが、財政の健全化を図りつつ、順次整備計画を進めたい。また、事業の効率化の視点から道路舗装工事に併せた敷設替えを行いたい。

Q 今後予想される施設改修計画に伴う資金の確保は？

A 内部留保資金も少なく、財政的に健全な状況ではない。受水設備の負担金の償還や、受水量見直しの検討も進めており、経営の向上要素もある。事業運営の効率化を図り、財源確保を目指す。また、使用料の改定及び料金体系の適正化の

検討や、湯河原町との事業統合に向けた調整も進めて行く予定です。

Q 我が町の「人口ビジョン」作成に際して実施した住民アンケートに、居住満足度・不満足度という興味深い資料があるが、「物価」についての質問がない。日用品だけでなく国保税や水道料金といった公共料金も安い方がよいのであって、値上げは定住促進策の観点から避けるべきだと思

うが？

A 水道事業は、住民が送るための基盤事業です。安心・安全な水を供給するための事業を進めて行く。インフラ整備の経費を抑えた中で住民の方々に還元できるようにすることが公営企業としての努力のひとつであり重要なものです。

累積赤字が残る中で、鋭意努力して行きたい。



高橋 敦
議員

期待される。学校教育や生涯学習へのICTの活用について、検討状況を問う。

A 既存の情報教育システムを活用し、既に設置してあるパソコンへのウェブカメラの取り付けを、28年度予算で予定しており、授業の中でどのように活用していくか等の教育課程の開発、指導に当たる教職員への研修も、機器の整備と並行して進めていく。

学校教育や生涯教育へのICTの活用について

Q 「人口ビジョン・総合戦略」の策定が行われる中、子ども子育てへの積極的な取り組みが人口減少防止策の一つとなり、より魅力的な教育環境の整備が重要とされている。

さらに、家族ぐるみの交流によって、真鶴を知っていたら、直接交流につながり、周りの方々にも伝えていただけるようになれば、町の発展にも寄与することになる。

また、真鶴町には文化・教養・趣味・スポーツなど様々なサークルで幅広い年齢層の方々が活動されており、ICTの活用により、他地域で活動されている方たちとの交流を行うことで、より活発な活動につながることを

間の交流を行い、その後今年度中に他地域とのモデル的な交流を一つずつ実施し、徐々に積み上げることで、真鶴町独自のICTの教育を中長期的に作り上げていく中で必要と判断すれば、積極的に参加していく。

Q 学校に配備された電子黒板が東日本大震災の時に活用された。

学校施設は災害時における避難所等の役割も果たすので、平時には教育に使っているICT環境を、災害時には緊急避難的対応の代替方策として使える仕組みを作るなど、学校教育だけ、社会教育だけ、生涯教育だけというだけではなく、それらをつまみ合わせることによって、「コスト面を抑え効果を高くすること、いろいろな分野で行えば予算上からも効率的だ。

A 非常に有用な情報であり、防災時に現在のICT環境をどのように活用できるか等を検討する。

Q 総務省が実施しているICTドリムスクールに真鶴町、あるいは近隣の市町村も含めた応募を検討しているか？

A これまで、小学校・中学校の子どもたちの12年間の育ちの連続性を大切にされた教育を行ってきた。

まず、町立小・中学校

間の交流を行い、その後今年度中に他地域とのモデル的な交流を一つずつ実施し、徐々に積み上げることで、真鶴町独自のICTの教育を中長期的に作り上げていく中で必要と判断すれば、積極的に参加していく。

一般質問



光吉 孝浩
議員

出生率引き上げについて今後段階的な出生率の引き上げをかけたがるが、結婚や子育てを応援する施策、支援の計画は？

A 結婚や子育ての支援は、総合戦略の施策の中で、「結婚・子育てを応援する町の推進」「地域で支え合いの推進」「二人一人に寄り添う教育」「真鶴の自然を活かした豊かな教育」を掲げている。総合戦略推進会議の意見を基に「新しい人の流れをつくる」を主軸として「仕事づくり」「結婚・出産・子育て」「時代にあった地域づくり」を展開していく。

人口減少と財政規模拡大について

Q 人口減少下での財政規模拡大の理由は？

A 28年度一般会計予算は総額が前年度より増加している。特に増加したのは扶助費と特別会計への繰り出し金。

Q 高齢者の人口増加により、扶助費が増えることは想像がつくが、生産人口が少なくなっている。若い人たちへの負担が増していくことは、若い人も感じており、定住や、移住の促進にはつながらない。若い人々への支援はどのように行われるのか？

A 若い人たちへの支援は、子育てでは福祉部門での各種事業、教育では教育部門での各種事業を実施して行く。

A 小中一貫については神奈川県小中一貫教育推進モデル校となったことを踏まえ、小学校と中学校の施設が分離したモデルとして今までの取り組みをもとに進めて行く。

研究チームは幼稚園、小学校、中学校ごとに全職員からなる研究会を置き、さらに教育委員会と園と各学校の代表者からなる研究会を置く。

計画内容は「小学校と中学校の繋がりのある授業づくり」、見直しをした「ふるさと教育の試行」「小学校と中学校の繋がりのある防災教育の充実」「小学校と中学校の教員による交流授業の実施」等が計画の中心となる。

今後も神奈川県小中一貫教育推進モデル校としての役割を果たす中で真鶴町の小中一貫教育の充実に努めていく。

教育を定住人口増のための戦略としらえ成功している自治体もある。自然や環境を生かした特色ある学校教育プログラムを策定し、子供を持つ親が真鶴に住んでみたいという動機づけにできないものかと思う。小中一貫プログラムに向けての取り組み状況は？

研究チームは幼稚園、小学校、中学校ごとに全職員からなる研究会を置き、さらに教育委員会と園と各学校の代表者からなる研究会を置く。

計画内容は「小学校と中学校の繋がりのある授業づくり」、見直しをした「ふるさと教育の試行」「小学校と中学校の繋がりのある防災教育の充実」「小学校と中学校の教員による交流授業の実施」等が計画の中心となる。

今後も神奈川県小中一貫教育推進モデル校としての役割を果たす中で真鶴町の小中一貫教育の充実に努めていく。



議長の部屋



青木 巖

地方創生と議会

昨年、議会は地方創生等検討特別委員会を設置しました。

地方版総合戦略を議会と執行部が車の両輪となつて推進するために、議会でも、地方版総合戦略の策定段階や効果検証の段階において、十分な審議が行われることが必要です。

第一に、「地方消滅」に見られるような、不確かな近未来の町人口予測で自治体が自動的に消滅してしまうかのような、非現実的な想定に振り回されることなく、正確な人口推計を立て地方への新しいひとの流れをつくるのが重要です。

で、人口の減少に歯止めがかからなくなると考えられます。今後の施策として、「若年女性人口」を増加させると共に、「流出」させない取り組みも同時に検討する必要があります。また、国の総合戦略では、

①「地方における安定した雇用を創出する」
②「地方への新しいひとの流れをつくる」
③「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」
④「時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する」

と地域を連携する」を基本目標としており、町でも国の目標に則した目標を設定し事業を進めていきます。

平成27年度の町の創生事業は、国からの地方創生交付金4049万円を活用し、人口ビジョン・総合戦略の策定、地域の消費喚起のためのプレミアム商品券の発行、大学との連携による新たな商品開発、産業活性化・雇用促進事業としての岩が

き試験養殖や新たな農作物の研究栽培及びひとの流れをつくるためのレンタサイクル事業補助などを行いました。

また、本年度は、国からの交付金7800万円により、「地場産業の力」創生事業として、人材開発・育成、新たな特産物開発、販売促進のためのイベント・プロモーションの実施及び「美しくの町・真鶴」創生事業として「町全体が美術館」という新たな観光への取り組みなどを計画しています。



地方創生総合戦略事業 「帰りたくなる、いのちの町」

「お林」や「美味しいお魚」などを活かして、「未病を治す森の駅」としての真鶴の魅力を世界中に知っていただく取組みを行っています。

「議会だより」読者アンケートご協力ありがとうございました!



真鶴町議会では、議会の活動の広報を更に充実するために、2月に読者アンケートを実施し、合計40通の回答をいただきました。今後も読者の皆様のご意見を反映させるべく継続的にアンケート実施してまいりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

また、3月定例会より、新しい広報の取り組みとしてインターネットによるライブ中継も実施しました。6月以降の定例会においても活発な質疑、討論の様子を中継いたしますのでご期待ください。

議会広報特別委員会
委員長 光吉孝浩

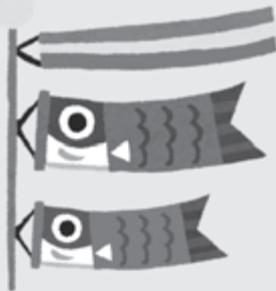


編集後記

昨年10月より議会広報特別委員会委員になりました。議会だよりの編集作業から2年程離れていましたので再び新たな気持ちで臨んでいます。今回、順番で編集長の役目を果たすことになりました。皆様に教えていただきながら取り組んでいます。本会議の原稿作成はかなりの量で作業が捗らず反省しきりです。

この号が皆様のもとに届く頃には大型連休に入ります。御一読いただき感想などを寄せいただければと思います。

議会広報特別委員会
委員 板垣 由美子



議会広報特別委員会

- 委員長 光吉 孝浩
- 副委員長 村田 知章
- 委員 板垣 由美子
- 委員 黒岩 範子
- 委員 高橋 敦
- 委員 岩本 克美